

令和２年度病床機能再編支援補助金を申請予定の医療機関（大崎・栗原区域）の事業計画（案）について

（１）医療機能の分化・連携に必要な病床削減支援

医療機関名	病床削減前の稼働病床数(A)		事業対象となる削減病床数 (B)		病床削減後の許可病床数(A)-(B)		病床削減に係る方針・考え方
栗原市立若柳病院	高度急性期	0	高度急性期	0	高度急性期	0	<p>栗原市病院事業は、平成１９年１１月に栗原市病院事業経営健全化計画を策定し、平成２０年４月には地方公営企業の全部適用に移行し、経営改善に取り組んでいる。</p> <p>これまで第２次（H２４．４～H２８．３の４か年）、第３次（H２８．４～R２．３の４か年）を策定し、栗原市立病院経営評価委員会において点検・評価を受け経営の健全化に取り組んできている。</p> <p>栗原市立３病院の病床数の適正化については、平成２９年度の栗原市立病院経営評価委員会において、地域医療を継続していくためには、「栗原市立３病院の病床数４９５床が 本当に必要であるかを、本格的に議論をする時期に来ている」と提言を受けて検討を開始した。</p> <p>栗原市の病床数適正化の基本的な考え方として、社会的な人口減少により医療需要も減少しているなかで、病院の財政状況の厳しさに加え慢性的な医師不足も踏まえ、市立３病院を維持・継続するには、現状の常勤医師の体制で持続可能な範囲での「全体最適な病床のダウンサイジング」による抜本的な改革を行い、併せて、市立３病院で連携を図り、機能分担を行いながら、経営健全化に向けた経費削減・抑制を図ることとした。</p> <p>令和元年度県地域医療構想推進支援事業及び令和２年度県地域医療構想実行支援事業を活用し、病院ごとに検討を深めるとともに、病院間の連携や機能分担の検討を進め、病院長会議において各病院の機能を確認し、病床数の適正化について決定した。</p> <p>若柳病院の病床数については、現状の常勤医師の体制で運用が可能なこと、並びに、人口減少等による病床利用率の低下や、地域の医療需要を踏まえ、現在の１２０床（一般病床９０床（２病棟）、療養病床３０床（１病棟））から、一般病床３０床を減床し、一般病床６０床・１病棟化、療養病床３０床の９０床とし、急性期・慢性期を担う、地域密着型の病院とする。</p> <p>運用開始については、令和３年４月１日を予定している。</p>
	急性期	82	急性期	22	急性期	60	
	慢性期	29	慢性期	▲1	慢性期	30	
	(参考)						
	回復期	0	回復期	0	回復期	0	
	休棟等	0					
	合計	111	合計(高+急+慢)	21	合計	90	
栗原市立栗駒病院	高度急性期	0	高度急性期	0	高度急性期	0	<p>栗原市病院事業は、平成１９年１１月に栗原市病院事業経営健全化計画を策定し、平成２０年４月には地方公営企業の全部適用に移行し、経営改善に取り組んでいる。</p> <p>これまで第２次（H２４．４～H２８．３の４か年）、第３次（H２８．４～R２．３の４か年）を策定し、栗原市立病院経営評価委員会において点検・評価を受け経営の健全化に取り組んできている。</p> <p>栗原市立３病院の病床数の適正化については、平成２９年度の栗原市立病院経営評価委員会において、地域医療を継続していくためには、「栗原市立３病院の病床数４９５床が 本当に必要であるかを、本格的に議論をする時期に来ている」と提言を受けて検討を開始した。</p> <p>栗原市の病床数適正化の基本的な考え方として、社会的な人口減少により医療需要も減少しているなかで、病院の財政状況の厳しさに加え慢性的な医師不足も踏まえ、市立３病院を維持・継続するには、現状の常勤医師の体制で持続可能な範囲での「全体最適な病床のダウンサイジング」による抜本的な改革を行い、併せて、市立３病院で連携を図り、機能分担を行いながら、経営健全化に向けた経費削減・抑制を図ることとした。</p> <p>令和元年度県地域医療構想推進支援事業及び令和２年度県地域医療構想実行支援事業を活用し、病院ごとに検討を深めるとともに、病院間の連携や機能分担の検討を進め、病院長会議において各病院の機能を確認し、病床数の適正化について決定した。</p> <p>栗駒病院の病床数については、現状の常勤医師の体制で運用が可能なこと、並びに、人口減少等による病床利用率の低下や、地域の医療需要を踏まえ、現在の７５床（一般病床４５床、療養病床３０床）から、一般病床４５床を廃止し、療養病床３０床から４５床に増床を行い、慢性期を担う地域密着型慢性期医療の病院とする。</p> <p>運用開始については、令和３年４月１日を予定している。</p>
	急性期	36	急性期	36	急性期	0	
	慢性期	28	慢性期	▲17	慢性期	45	
	(参考)						
	回復期	0	回復期	0	回復期	0	
	休棟等	0					
	合計	64	合計(高+急+慢)	19	合計	45	

（２）医療機能の分化・連携に必要な医療機関統合支援

該当医療機関なし

（３）病院の債務整理に必要な借入資金に対する支援

該当医療機関なし